



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 椿本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,716	23.6	1,567	49.1	1,855	43.5	1,255	42.1
2020年3月期第2四半期	57,197	7.1	3,078	8.8	3,287	8.7	2,169	6.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,563百万円 (2.5%) 2020年3月期第2四半期 1,526百万円 (47.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	200.59	
2020年3月期第2四半期	346.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	60,341	25,662	42.2
2020年3月期	65,969	24,738	37.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 25,452百万円 2020年3月期 24,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		100.00	130.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				90.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,500	19.5	3,000	43.3	3,300	41.4	2,170	42.0	346.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,497,969 株	2020年3月期	6,497,969 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	237,460 株	2020年3月期	237,330 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,260,566 株	2020年3月期2Q	6,260,868 株

当社は、当第2四半期連結会計期間より「株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	13
・補足情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症が依然として収束しておらず、世界的に社会及び経済に大きな影響を及ぼしております。各国政府の移動制限に伴う経済活動の抑制などの結果、景気の先行きが全く見通せなくなった状況後、経済活性化政策の実施などにより景気回復への模索が続けられておりますが、先行きは不透明です。

このような状況下において、当企業グループでは、客先・仕入先、当企業グループの役職員やその家族をはじめとする、全ての皆さまの安全・健康を第一に考え、感染拡大防止に努めました。このため、販売活動においては、感染拡大防止のために営業部門の直接の企業訪問を制限・自粛せざるを得ず、テレワークなどの代替手段も活用しながら営業活動を実施したものの、企業の設備投資マインドが回復するまでに至らなかったこともあって、受注高・売上高が前年同期に比べ大きく減少いたしました。これに加えて、前年同期に計上した大口の液晶画面関連製造装置の納入が概ね完了したため、当期の設備装置関連の売上高が前年同期に比べ大きく減少いたしました。一方、利益面では、徹底した経費削減を実施いたしましたでしたが、売上総利益減少分を補いきれず、前年同期に比べ大きく減少することとなりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、

売上高	4 3 7 億 1 6 百万円	(前年同期比	7 6 . 4 %)
営業利益	1 5 億 6 7 百万円	(前年同期比	5 0 . 9 %)
経常利益	1 8 億 5 5 百万円	(前年同期比	5 6 . 5 %)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 2 億 5 5 百万円	(前年同期比	5 7 . 9 %)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

#### 東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約39%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動が制限されたため、全般に低調な売上となりました。設備装置関連の売上高は、前年同期を上回る金額となりました。一方、部品需要については、特に自動車部品や半導体関連部品の売上高減少が影響し、本部全体の売上高は168億40百万円（前年同期比91.5%）となりました。

#### 西日本本部

東海・北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約45%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動が制限されたため、全般に低調な売上となりました。設備装置関連の売上高は、前年同期に計上した大口の液晶画面関連製造装置が当期には若干額のみとなったため、設備装置関連の売上高が大きく減少いたしました。また、部品需要については、生産調整が続く重工業向けや一般産業向けの売上減少が影響し、本部全体の売上高は196億59百万円（前年同期比66.8%）となりました。

#### 開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約16%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、海外子会社については、新型コロナウイルス感染症拡大による各国の活動制限が厳しいものとなり、営業活動が大きく制限されたため、売上高は前年同期に比べ大きく減少いたしました。また、マテリアルビジネスについては、介護・衛生関連商品にかかる不織布等の売上は堅調に推移いたしました。海外展開している紅茶包装機等は、新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限の影響を大きく受けました。これらを合計した本部全体の売上高は72億17百万円（前年同期比77.1%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 1. 資産、負債及び純資産の状況

#### ① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は603億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億28百万円減少いたしました。流動資産は58億44百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が74億55百万円、受取手形及び売掛金が9億59百万円減少した一方で、電子記録債権が28億4百万円増加したこと等によるものがあります。固定資産は2億15百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより4億35百万円増加した一方で、繰延税金資産が1億37百万円減少したこと等によるものであります。

#### ② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は346億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億52百万円減少いたしました。流動負債は65億68百万円減少いたしました。主な要因は、電子記録債務が61億79百万円、未払法人税等が3億39百万円減少したこと等によるものであります。

#### ③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は256億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億23百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を12億55百万円計上したこと、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより、その他有価証券評価差額金が3億32百万円増加した一方で、配当金の支払い6億26百万円を実施したこと等によるものであります。

### 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は89億57百万円となり、前連結会計年度末より74億55百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は67億49百万円となりました。この主な原因は、税金等調整前四半期純利益18億60百万円、未払消費税等の増加額3億40百万円等による資金の増加があった一方、仕入債務の減少額61億23百万円、売上債権の増加額18億56百万円、法人税等の支払額9億24百万円等による資金の減少によるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は34百万円となりました。この主な原因は、固定資産の取得による支出46百万円等の資金の減少によるものであります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は6億49百万円となりました。この主な原因は、配当金の支払額6億26百万円等の資金の減少によるものであります。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、不良債権の発生を極力抑制するとともに、債権回収の早期化の促進をはかること及び当企業グループ全体の資金効率向上等により資金確保を徹底してまいります。投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローは、売上動向の変化に機敏に対応できる効率的な資金調達・運用を念頭に活動してまいります。

なお、当連結会計年度末の資金は、前連結会計年度末程度を予定しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が引き続き大きく影響し、経済活動も徐々に再開されるものの、依然として低調な水準にとどまるものと思われまます。

このため、連結業績の予想につきましては、下記の状況を前提に作成しております。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、少なくとも前期末時点に見積もった状況が当連結会計年度末までは続くと考えております。従って、当第2四半期連結累計期間末現在においては、会計上の見積りに関し前期末時点から変更する必要はないと判断しております。
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大の経済全般への影響が、当第2四半期連結累計期間と同様に当連結会計年度末まで継続して及ぶものと判断しております。このため、今後の設備投資案件の中止・延期や据付工事の遅れ、自動車や産業機械の生産調整が続くための部品需要の減額などが背景になり、当企業グループの受注高・売上高に対しても、これらが大きく影響してくるものと判断しております。

先行きが全く見通せない状況下ではありますが、当第2四半期連結累計期間の実績や受注残高の納期推移などを総合的に判断した結果、本年7月31日に発表した通期の業績予想は変更しないことといたします。なお、今後の状況により、修正が必要となった場合には、速やかに修正開示させていただきます。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	84,500	3,000	3,300	2,170

(通期個別業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
通期	80,000	2,180	3,210	2,370

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,412	8,957
受取手形及び売掛金	27,436	26,477
電子記録債権	6,411	9,215
商品及び製品	2,599	2,345
仕掛品	620	1,039
その他	1,608	1,209
貸倒引当金	△168	△167
流動資産合計	54,921	49,077
固定資産		
有形固定資産	1,785	1,738
無形固定資産	121	122
投資その他の資産		
投資有価証券	7,070	7,506
長期未収入金	1,358	1,357
繰延税金資産	880	743
その他	1,343	1,306
貸倒引当金	△1,511	△1,510
投資その他の資産合計	9,141	9,403
固定資産合計	11,048	11,263
資産合計	65,969	60,341
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,352	14,400
電子記録債務	19,787	13,607
未払法人税等	852	512
前受金	3,077	3,118
役員賞与引当金	7	70
工事損失引当金	12	1
偶発損失引当金	208	208
その他	578	389
流動負債合計	38,877	32,308
固定負債		
役員株式給付引当金	—	12
退職給付に係る負債	1,901	1,897
長期未払金	213	211
繰延税金負債	—	8
その他	237	239
固定負債合計	2,353	2,369
負債合計	41,231	34,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,867
利益剰余金	19,126	19,755
自己株式	△490	△552
株主資本合計	23,387	24,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,260	1,592
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	41	13
退職給付に係る調整累計額	△181	△169
その他の包括利益累計額合計	1,117	1,436
非支配株主持分	233	209
純資産合計	24,738	25,662
負債純資産合計	65,969	60,341



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	57,197	43,716
売上原価	48,557	37,199
売上総利益	8,640	6,517
販売費及び一般管理費	5,561	4,950
営業利益	3,078	1,567
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	164	148
助成金収入	—	189
持分法による投資利益	37	—
その他	46	16
営業外収益合計	251	356
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	27	22
持分法による投資損失	—	18
為替差損	—	13
その他	12	10
営業外費用合計	42	68
経常利益	3,287	1,855
特別利益		
固定資産売却益	3	4
特別利益合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	3,290	1,860
法人税、住民税及び事業税	1,083	602
法人税等調整額	18	2
法人税等合計	1,101	604
四半期純利益	2,188	1,255
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	19	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,169	1,255

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	2,188	1,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△666	332
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	0	△28
退職給付に係る調整額	12	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△9
その他の包括利益合計	△662	308
四半期包括利益	1,526	1,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,501	1,574
非支配株主に係る四半期包括利益	25	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,290	1,860
減価償却費	81	82
引当金の増減額(△は減少)	23	63
受取利息及び受取配当金	△167	△150
支払利息	2	2
持分法による投資損益(△は益)	△37	18
固定資産除売却損益(△は益)	△3	△4
売上債権の増減額(△は増加)	534	△1,856
たな卸資産の増減額(△は増加)	△184	△170
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,672	△6,123
前受金の増減額(△は減少)	△3,375	53
未払消費税等の増減額(△は減少)	△317	340
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	△3
その他の資産の増減額(△は増加)	848	71
その他の負債の増減額(△は減少)	△174	△174
その他	5	△1
小計	△5,113	△5,993
利息及び配当金の受取額	167	150
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,275	△924
持分法適用会社からの配当金の受取額	17	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,204	△6,749
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△130	△46
固定資産の売却による収入	3	4
投資有価証券の取得による支出	△12	△13
長期貸付けによる支出	△3	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△107	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251	△34
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△3	△9
配当金の支払額	△751	△626
非支配株主への配当金の支払額	△12	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△767	△649
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,226	△7,455
現金及び現金同等物の期首残高	18,115	16,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,889	8,957

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式報酬制度「役員向け株式交付信託」の導入)

当社は、2020年6月26日開催の第117回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役は除く。）及び取締役を兼務しない執行役員（以下、「取締役等」という。）を対象とした新たな株式報酬制度「役員向け株式交付信託」（以下、「本制度」という。）を導入しております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取り扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される、という株式報酬制度であります。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、取締役等の退任時であります。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当第2四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は、194百万円、株式数は64,300株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	18,402	29,430	9,365	57,197	—	57,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142	447	448	1,038	△1,038	—
計	18,544	29,878	9,813	58,236	△1,038	57,197
セグメント利益	1,002	2,295	396	3,694	△615	3,078

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,694
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△616
四半期連結損益計算書の営業利益	3,078

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	16,840	19,659	7,217	43,716	—	43,716
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	219	304	598	△598	—
計	16,914	19,879	7,521	44,315	△598	43,716
セグメント利益	826	1,071	224	2,122	△555	1,567

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,122
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△557
四半期連結損益計算書の営業利益	1,567

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

・補足情報

受注、販売及び仕入の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本本部	17,014	△9.0	15,753	1.3
西日本本部	20,530	△12.0	20,546	△7.1
開発戦略本部	7,538	△10.3	4,500	5.0
調整額	△351	—	△1,357	—
合計	44,731	△9.4	39,442	△1.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	16,914	△8.8
西日本本部	19,879	△33.5
開発戦略本部	7,521	△23.4
調整額	△598	—
合計	43,716	△23.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	14,625	△6.7
西日本本部	16,856	△34.1
開発戦略本部	6,480	△24.0
調整額	△598	—
合計	37,364	△23.3

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。